

訓練の実施概要

1 今回の訓練の特色

第41回九都県市合同防災訓練は、新型コロナウイルス感染症が収束しない中で、訓練参加機関・団体の縮小、訓練参加者の制限等を行うとともに、3密の排除、検温や手指消毒の実施等感染予防対策を徹底する一方で、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した避難所の開設・運営訓練や感染患者搬送訓練などコロナ禍における震災や風水害との複合災害を想定した訓練を実施するなどウィズコロナを意識した訓練となった。

2 実施日及び場所

都県市名	訓練日	会場
埼玉県	11月1日（日）ほか	SKIP シティ(川口市上青木)ほか
千葉県	11月1日（日）ほか	野田市文化会館（野田市文化センター） ほか
東京都	11月22日（日）ほか	北区立中央公園ほか
神奈川県	10月25日（日）ほか	神奈川県総合防災センターほか
横浜市	11月8日（日）ほか	横浜市立根岸中学校ほか
川崎市	11月8日（日）	市内指定避難所施設ほか
千葉市	11月8日（日）	市内指定避難所施設ほか
さいたま市	10月31日（土）	さいたま市役所ほか
相模原市	11月1日（日）	相模原市立相模台中学校ほか

3 発災対応型訓練

(1) 広域応援・受援訓練

九都県市相互及び防災関係機関等との連携・協力体制の充実を図るため、各種相互応援協定に基づく訓練を実施した。

ア 人員・資機材等の応援訓練

応援都県市	受援都県市	応援内容
さいたま市	埼玉県	救出救助訓練
東京都	埼玉県	政府調査団被災地視察訓練

イ 救援物資緊急輸送訓練

九都県市災害時相互応援に関する協定に基づく、救援物資の受け入れのため陸上輸送に対応する救援物資集積拠点の開設・運営を行った。

応援都県市	受援都県市
千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市	埼玉県
東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市	千葉県
千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市	東京都
千葉県、東京都、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市	神奈川県
千葉県、東京都、神奈川県、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市	横浜市
千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、千葉市、さいたま市、相模原市	川崎市
千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、さいたま市、相模原市	千葉市
千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、相模原市	さいたま市
千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市	相模原市

ウ 九都県市以外の機関との連携訓練

受援都県市	応援機関	応援内容
埼玉県	関西広域連合広域防災局 三県知事会議（群馬県、新潟県）	救援物資緊急輸送訓練 〃

(2) 災害対策本部訓練

職員非常参集、災害対策本部設置・運営、情報受伝達の訓練を実施した。

(3) 情報伝達・広報訓練

広報車、防災行政無線、ヘリコプター等による情報伝達に加え、ソーシャルメディアやモバイル等を活用し、被害状況等を迅速かつ正確に伝達する訓練を実施した。

(4) 避難・救護訓練

地域と消防、警察、自衛隊、海上保安庁等の防災関係機関が連携・協力して、道路の損壊や橋梁の倒壊等により孤立した地域の住民等に対し、安全な場所への避難誘導、倒壊家屋からの救出・救護や高層建物、車両内等からの救出・救護等を実施した。

(5) 火災防御訓練

住民が水バケツや消火器を使用して初期消火を行うとともに、事業所や消防機関が連携・協力して、建物等から発生した火災を鎮圧する火災防御訓練を実施した。

(6) 交通対策訓練

警察、土木担当部局及び関係団体等の相互連携のもとに、車両等の通行を禁止するなどして、緊急交通路の確保等を実施した。

(7) 多数遺体取扱訓練

大規模災害発生時における適切な遺体取扱方法を理解するとともに、関係機関との連携を相互に確認・検証した。